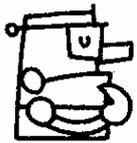


小 / 理科 / 6年 / 地球と宇宙 /
星の動き / 理解シート

星の観察のしかたを、教えて



明るさ、色、並び方^{なら}などで目立つ星を一つでも見つけ、
そこから、星座^{せいざ}を探^{さが}るのがコツさ。

星の観察の第1歩は、星を見分けられるようになることです。夏なら、東から真上の空で明るさで目立つ星を探せば、夏の大三角形が見つかり、はくちょう座やわし座を探せます。北の空なら、方位磁石^{ほういじしゃく}で真北にぽつんとある北極星^{ほくとしせい}を見つけやすく、形からカシオペア座や北斗七星も探しやすいものです。

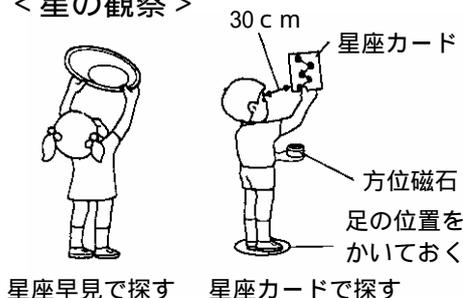
観察の前に、星座早見^{せいざはやみ}や、教科書などにある星座の写真、星座表などをよく調べ、観察する月日、時刻^{じこく}には、どのあたりに探す星座が出ているかを知っておきます。

教科書にのっている星座カード用の図を写しとり、厚紙にはってつくる星座カードを使う方法もあります。方位磁石を使って、探す星座が見える方角に向き、星座カードをもった手をのばし、目から30 cmぐらいにして、形が合う星座を探します。

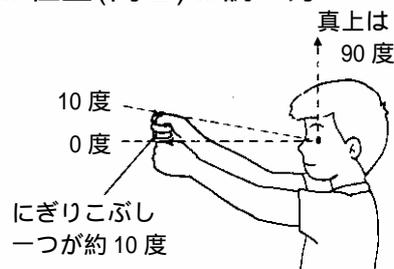
星の動きを観察するときは、記録のしかたが大切

星座の動きを観察するなら、観察場所に足の位置をかき、いつもそこで観察します。教科書などから小さい星座の形を写した星座シールと、電線や建物などの目印をかいた方眼紙^{ほうがんし}を用意しておき、方眼紙に星座シールをはって星座の位置を記録し、観察時刻を書いておきます。時刻や日を変えて、観察した星座の位置を、星座シールで記録すれば、星座の動き方が記録できます。

<星の観察>



<星の位置(高さ)の調べ方>



もっと知りたい人へ：「星座の観察に必要な道具を、教えて」、「星座早見の使い方を、教えて」も見てみよう。